



Cisco Unity Connection システム要件 Cisco Unified CMBE Release 6.0 対応

Published May 30, 2007

このマニュアルでは、Cisco Unity Connection : Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) バージョン 6.0 のシステム要件を示しています。このマニュアルには、次の項があります。

- [ハードウェア要件 \(P. 2\)](#)
- [ソフトウェア要件 \(P. 2\)](#)
- [COS 制御機能の要件 \(P. 5\)](#)
- [Exchange の予定表と連絡先にアクセスする場合および TTS を使用して Exchange の電子メールにアクセスする場合の要件 \(P. 7\)](#)
- [Cisco Unity Connection Phone View の要件 \(P. 9\)](#)



(注) このマニュアルには、日本語化されたマニュアル名と英語版 URL が併記された箇所があります。日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_uc_cuc.shtml

ハードウェア要件

Cisco Unity Connection の仕様を満たす 1 台のサーバ。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』を参照してください。



注意

サポートされていないプラットフォームでソフトウェアをインストールしようとすると、Cisco Unity Connection の設定は失敗します。

ソフトウェア要件

この項では、次のことを説明しています。

- [Cisco Unity Connection ソフトウェア要件 Cisco Unified CMBE サーバ対応 \(P. 2\)](#)
- [ソフトウェア要件：管理者ワークステーション \(P. 2\)](#)
- [ソフトウェア要件：ユーザワークステーション \(P. 3\)](#)

Cisco Unity Connection ソフトウェア要件 Cisco Unified CMBE サーバ対応

Cisco Unity Connection ソフトウェアおよび必要なすべてのサードパーティ ソフトウェアは、Cisco Unity Connection の設定によりインストールされます。

ソフトウェア要件：管理者ワークステーション

- Cisco Unified CMBE サーバ上の Connection Web アプリケーションにアクセスするには、オペレーティング システムおよびインターネット ブラウザと、インストールする Cisco Unified CMBE のバージョンとの間に互換性が必要です。表 1 は、このような Web アプリケーションに関してサポートされているオペレーティング システムとブラウザの組み合わせを示しています。

Cisco Unified Communications Manager の各アプリケーション (Cisco Unified CM Administration など) は、異なるブラウザをサポートしています。Cisco Unified CMBE サーバのすべての Web アプリケーションでサポートされるブラウザは、Microsoft Internet Explorer 6.0 だけです。

表 1 管理者ワークステーションでサポートされているオペレーティング システムおよびブラウザ

Cisco Unity Connection のバージョン	管理者ワークステーションのオペレーティング システム	管理者ワークステーションのブラウザ
6.0(1)	Microsoft Windows Vista	Microsoft Internet Explorer 7.0
	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows Server 2003 • Microsoft Windows XP • Microsoft Windows 2000 	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Internet Explorer 6.0 および 7.0 • Mozilla Firefox 2.0
	Red Hat Enterprise Linux	Mozilla Firefox 2.0

- 表 2 は、適切なブラウザ コンフィギュレーションに必要なソフトウェアを示しています。管理者ワークステーションでのブラウザの設定方法は、『システム アドミニストレーション ガイド for Cisco Unity Connection : Cisco Unified CMBE』の「管理者ワークステーションでのブラウザの設定」の章に記載されています。

表2 管理者ワークステーションでの適切なブラウザ コンフィギュレーションに必要なソフトウェア

Cisco Unity Connection のバージョン	ブラウザ	必要なソフトウェア
6.0(1)	Firefox	次のソフトウェア。オペレーティング システムによって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> Apple Mac OS X の場合 : <ul style="list-style-type: none"> Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Release 3 以降 Java Embedding Plugin for Mac OS X バージョン 0.9.5 以降¹ Linux の場合 : <ul style="list-style-type: none"> ALSA ドライバ バージョン 1.0.9 以降 Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降 Windows の場合、Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降
	Internet Explorer	Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降

1. Java Embedding Plugin for Mac OS X は、Firefox バージョン 1.5.0.1 以降に組み込まれています。

ソフトウェア要件 : ユーザ ワークステーション

- ユーザが Cisco Personal Communications Assistant にアクセスできるようにするには、ユーザ ワークステーションのオペレーティング システムおよびインターネット ブラウザと、インストールする Connection のバージョンとの間に互換性が必要です。サポートされているバージョンの組み合わせについては、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_device_support_tables_list.html にある『互換性マトリクス : Cisco Unity Connection とユーザ ワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。
- IMAP 電子メール クライアントを使用して Cisco Unity Connection ボイス メッセージにアクセスする場合、電子メール クライアントには、インストールする Connection のバージョンとの互換性が必要です。サポートされているクライアントとバージョンの組み合わせについては、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_device_support_tables_list.html にある『互換性マトリクス : Cisco Unity Connection とユーザ ワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。
- 表 3 は、適切なブラウザ コンフィギュレーションに必要なソフトウェアを示しています。これは、ユーザ ワークステーションにインストールされているブラウザによって異なります。ユーザ ワークステーションでのブラウザの設定方法は、『Cisco Unity Connection ユーザ ワークステーション セットアップガイド』に記載されています。

表3 ユーザワークステーションでの適切なブラウザ コンフィギュレーションに必要なソフトウェア

Cisco Unity Connection のバージョン	ブラウザ	必要なソフトウェア
6.0(1)	Apple Safari	Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Release 3 以降
	Firefox	次のソフトウェア。オペレーティング システムによって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> • Mac OS X の場合 : <ul style="list-style-type: none"> - Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Release 3 以降 - Java Embedding Plugin for Mac OS X バージョン 0.9.5 以降¹ • Linux の場合 : <ul style="list-style-type: none"> - ALSA ドライバ バージョン 1.0.9 以降 - Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降 • Windows の場合、Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降
	Internet Explorer	Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降

1. Java Embedding Plugin for Mac OS X は、Firefox バージョン 1.5.0.1 以降に組み込まれています。

COS 制御機能の要件

表 4 は、サービス クラス (COS) で制御される Cisco Unity Connection 機能の要件を示しています。

表 4 COS 制御の Cisco Unity Connection 機能の要件

機能	要件	考慮事項
テキスト/スピーチ (TTS) を使用した Microsoft Exchange 電子メールへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ボイスメール ユーザ ライセンスおよびアドバンス ボイスメール ユーザ ライセンス サポートされている Exchange のバージョンおよびエディション サポートされている Windows ドメイン コンフィギュレーション内の Exchange サーバ <p>P.7 の「Exchange の予定表と連絡先にアクセスする場合および TTS を使用して Exchange の電子メールにアクセスする場合の要件」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユーザは、TTS 機能へのアクセスとその使用を許諾するライセンスのある COS に属している必要があります。 また、ユーザには、そのユーザのメールボックスが格納された Exchange サーバを指定した Connection の外部サービス アカウントも必要です。 ユーザが実行できるのは、電子メールの取得、保存、および削除だけです。電子メールの返信または転送は行えません。 ユーザは電話を使用して電子メールを削除できますが、クライアントによっては、引き続きクライアントの Inbox に電子メールが表示される場合があります。
Cisco Unity Inbox	ボイスメール ユーザ ライセンスおよび Inbox ユーザ ライセンス	ユーザは、Cisco Unity Inbox の使用が有効な COS に属している必要があります。
Cisco Unity Personal Call Transfer Rules	<ul style="list-style-type: none"> ボイスメール ユーザ ライセンス 	ユーザは、Cisco Unity Personal Call Transfer Rules の使用が有効な COS に属している必要があります。
Microsoft Exchange との連絡先および予定表の連動	<ul style="list-style-type: none"> ボイスメール ユーザ ライセンス サポートされている Exchange のバージョンおよびエディション サポートされている Microsoft Windows ドメイン コンフィギュレーション内の Exchange サーバ <p>P.7 の「Exchange の予定表と連絡先にアクセスする場合および TTS を使用して Exchange の電子メールにアクセスする場合の要件」を参照してください。</p>	<p>ユーザは、Microsoft Exchange の使用が有効な COS に属している必要があります。</p> <p>また、各ユーザには、ユーザのメールボックスが格納された Exchange サーバを指定した Connection の外部サービス アカウントも必要です。</p>

表 4 COS 制御の Cisco Unity Connection 機能の要件 (続き)

機能	要件	考慮事項
Cisco Unity Connection ボイス メッセージへの IMAP クライアント アク セス	<ul style="list-style-type: none"> • ボイスメール ユーザ ライセンスおよび IMAP ユーザライセンス • ユーザ ワークステーション上のサウンドカード、スピーカ、およびメディア プレーヤー • サポートされている IMAP クライアント。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_device_support_tables_list.htmlにある『互換性マトリクス : Cisco Unity Connection とユーザ ワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。 	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザは、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスが有効な COS に属している必要があります。 • ボイス メッセージは、WAV 添付ファイルが添付された電子メールです。 • ユーザが実行できるのは、ボイス メッセージの取得、保存、および削除だけです。ボイス メッセージの返信または転送は行えません。 • ユーザは、IMAP クライアントを使用してプライバシーの保障されたボイス メッセージを再生することはできません。 • クライアントによって、ユーザは、[削除したメッセージ] フォルダを定期的に空にして、ボイス メッセージを完全に削除する必要があります。
音声認識機能	<ul style="list-style-type: none"> • ボイスメール ユーザ ライセンスおよびアドバンス ボイスメール ユーザ ライセンス • Cisco Unity Connection サーバおよび電話システムでの G.711 Mu-Law オーディオ形式 	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザは、音声認識の使用が有効な COS に属している必要があります。 • G.729a オーディオ形式はサポートされていません。

Exchange の予定表と連絡先にアクセスする場合および TTS を使用して Exchange の電子メールにアクセスする場合の要件

Cisco Unity Connection を使用すると、ユーザは、Microsoft Exchange の予定表および連絡先データに基づいてパーソナル着信転送ルールを作成できます。また、Connection を使用すると、ユーザはテキスト/スピーチ (TTS) を使用して Exchange の電子メールを聞くことができます。

この項では、次のことを説明しています。

- [サポートされている Exchange のバージョンとエディション \(P.7\)](#)
- [Exchange および Windows ドメイン コンフィギュレーションの要件 \(P.8\)](#)

サポートされている Exchange のバージョンとエディション

次のバージョンの Exchange がサポートされています。

- Exchange Server 2007 Enterprise Edition (英語、フランス語、ドイツ語、または日本語)
- Exchange Server 2007 Standard Edition (英語、フランス語、ドイツ語、または日本語)



注意

TTS を使用した Exchange 2007 電子メールへのアクセスがサポートされます。ただし、Exchange 2007 サーバで SSL サーバ証明書を作成およびインストールし、Exchange 電子メールへの TTS アクセスを保護することは、現時点ではサポートされていません。このサポートが追加されたときには、Cisco.com でテクニカル ノートが公開される予定です。

- Exchange Server 2003 Enterprise Edition with Service Pack 1 以降 (英語、フランス語、ドイツ語、または日本語)
- Exchange Server 2003 Standard Edition with Service Pack 1 以降 (英語、フランス語、ドイツ語、または日本語)
- Exchange 2000 Server Enterprise Edition with Service Pack 3 以降 (英語、フランス語、ドイツ語、または日本語)
- Exchange 2000 Server Standard Edition with Service Pack 3 以降 (英語、フランス語、ドイツ語、または日本語)

Exchange および Windows ドメイン コンフィギュレーションの要件

ユーザがパーソナル着信転送ルールで Exchange データを使用したり、TTS を使用して Exchange 電子メールを聞いたりできるようにするには、Exchange サーバが、サポートされている Windows ドメイン コンフィギュレーションに含まれている必要があります。

表 5 サポートされている Exchange および Windows ドメイン コンフィギュレーション

Exchange コンフィギュレーション	サポートされている Windows ドメイン コンフィギュレーション
Exchange Server 2007 を実行する 1 台のサーバ	<ul style="list-style-type: none"> Exchange サーバは、Windows Server 2003 ドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバです。 Exchange サーバは、Windows Server 2003 メンバサーバです。
Exchange Server 2003 を実行する 1 台のサーバ	<ul style="list-style-type: none"> Exchange サーバは、Windows Server 2003 ドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバです。 Exchange サーバは、Windows Server 2003 メンバサーバです。 Exchange サーバは、Windows Server 2003 ドメイン内の Windows 2000 Server メンバサーバです。
Exchange 2000 Server を実行する 1 台のサーバ	<ul style="list-style-type: none"> Exchange サーバは、Windows 2000 Server ドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバです。 Exchange サーバは、Windows 2000 Server メンバサーバです。
Exchange Server 2003、Exchange 2000 Server、または任意の組み合わせを実行する 2 ~ 5 台のサーバ	Exchange サーバは、ドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバであり、場合によっては、単一ドメインまたは複数のプライマリ / 子ドメインのメンバサーバでもあります。

Cisco Unity Connection Phone View の要件

サポートされている Cisco Unified Communications Manager のバージョンのファームウェアがインストールされた、サポート対象の Cisco Unified IP Phone モデル。サポートされる電話モデルについては、『Cisco Unity Connection サポートされるハードウェア/ソフトウェアおよびサポートポリシー - Cisco Unified CMBE Release 6.x 対応』

(http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/prod_installation_guides_list.html) の「Cisco Unity Connection Phone View 機能でサポートされる電話モデル」の項を参照してください。

Phone View は、Cisco Unified IP Phone と通信する場合、その電話のロケールに応じてローカライズされたデータを送信します。IP Phone がサポートされていないロケールに設定されている場合は、データはアメリカ英語で表示されます。

CCVP, the Cisco logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, *Packet*, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

このドキュメントで使用しているインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実在のアドレスではありません。ドキュメント中で示される例、コマンドの画面出力、および図は、いずれも視覚的な説明のみを目的としています。実在する IP アドレスが例示されていた場合、それらは意図して使用したものではありません。

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間: 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00